

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>「当たり前のことをすりゃあいいったい」「普通のことをする為に、特別な工夫をしよう。生活行為に勝る訓練はなし。」との理念のもとに、支援を行っている。</p>	<p>○</p> <p>地域の行事やお祭りへの参加、食料品等の買い物、レストランでの外食、公園散歩等、地域の中で普通に暮らしていけるように支援している。</p>
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>日常生活に重点を置き、ご本人のお出来になることで生活、行事等へ参加して頂けるように、職員は、常に心掛けて行動している。</p>	<p>○</p> <p>毎日の生活の中の家事・炊事・洗濯等が、理念そのものである。</p>
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる</p>	<p>見学、契約時に充分説明を行い、又グループホーム玄関入り口と複合施設入り口にも理念を掲示している。地域の皆様への理念の理解への取り組みは、施設全体として「秋祭り」等を実施し、理解に努めている。</p>	<p>○</p> <p>家族への理解は出来ていると思われるが、地域に対しては充分ではないので、更に浸透出来るよう公民館活動等に働きかけていきたい。</p>
2. 地域との支えあい			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>立地場所が山手で民家のはずれになるので、近所の人と気軽に声を掛け合ったり、立ち寄ってもらうような環境にはないので、日常的なお付き合いとまでは至っていない。複合施設なので他施設との交流や個人的な行き来はある。</p>	<p>○</p> <p>今後は、日常的なお付き合いが出来るように検討していきたい。</p>
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>公民館行事(文化祭、ふれあいサロン等)、小学校行事(発表会)、地域交流事業、地元の「夏祭り」等へ参加し、交流を深めている。</p>	<p>○</p> <p>今後も地域行事等への参加を通して交流を深めていきたい。</p>

福岡県 グループホーム 油山福祉の里

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>6</p> <p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>併設施設より公民館へ出向き、講話等を行っている。</p>	<p>○</p>	<p>今後は、地域の皆様への貢献について一層の努力をしていきたい。</p>
<p>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</p>			
<p>7</p> <p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>日常業務内容を再確認することにより、又評価結果を踏まえて、改善に努めている。(施設内の飾りつけでより家庭的な雰囲気を出す様にした。)</p>	<p>○</p>	<p>業務内容を客観的に見ることが出来、家族や地域に対して更に支援に努めたい。</p>
<p>8</p> <p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>サービス内容の報告や施設内全ての見学をして頂き、ご家族及び地域代表の民生委員の方のご意見を伺っている。、地域交流の進め方についてもアドバイスを頂く。公民館行事(ふれあいサロン)へも招待して頂いている。</p>	<p>○</p>	<p>運営推進会議での意見により、施設内の設備・飾りつけ等改善したり、検討している物もある。家族の率直な意見も伺えて大変参考になる。</p>
<p>9</p> <p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>介護保険の変更内容や、業務内容について市担当者に相談・意見を伺うようにしている。</p>	<p>○</p>	<p>今後も意見を伺いながら、業務を遂行していきたい。</p>
<p>10</p> <p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>権利擁護や成年後見人制度についての研修等を受講している。家族会の機会や、必要と考えられるご家族に説明をし、支援している。</p>	<p>○</p>	<p>成人後見人制度を利用されたご家族もおられる。</p>
<p>11</p> <p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待防止の研修は受講している。虐待ではなくても、ホーム内での日常業務が利用者にとって不快なものにならないように、常に職員間で報告・検討・情報交換している。</p>	<p>○</p>	<p>職員が対応方法等で一人で悩まないように、抱えこまないように、職員間の情報の交換と職場の人間関係が円滑なものであるように心掛けている。</p>

福岡県 グループホーム 油山福祉の里

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p> <p>契約書、重要事項説明書他十分に説明し、理解、納得して頂けるように努めている。</p>	○	案内パンフレットに必要な事を記載し、見学の時点に於いて、あるて程度の理解をして頂くようにしている。
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> <p>利用者の声に常に耳を傾け話を聞くようにし、対応・検討するよう心掛けている。又外部より、ふれあい相談員の来所もあり意見を伺いながら運営に反映させている。</p>	○	気軽に会話し易い雰囲気作りを大切にしている。
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p> <p>ご家族来所時にご本人の健康状態、近況報告を必ずしている。職員の移動についても家族会等で報告・紹介している。金銭管理については、施設立替にて銀行自動引き落としにし報告書を添付している。</p>	○	今後も、きめ細かい状況報告をしていきたい。
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> <p>日頃より、ご家族と親しくお話ができるように心掛け、ご意見・要望を尋ねるようにしている。「相談、苦情に関する受付・解決制度について」の用紙を契約時に渡し(外部者への連絡先等記載)、又玄関入り口に受付のポストを用意している。</p>	○	運営推進会議、家族会等でも意見・要望を尋ね、問題解決に繋げている。
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p> <p>職員全員での会議を1回/月行っている。必要に応じて出勤者のみでの短時間の会議を行うこともある。</p>	○	意見・提案の反映に繋げたい。
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p> <p>行事や利用者の状況に応じて、職員数や出勤時間の変更を行っている。</p>	○	業務内容も含め柔軟に対応している。

福岡県 グループホーム 油山福祉の里

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>18</p> <p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>異移動・退職者は、近年、年間各1名程度で、馴染みの関係が出来ているようである。(退職者の後に他施設より移動してきている。)</p>	<p>○</p>	<p>働きやすい職場の雰囲気作りに努め、離職者が出ないように職員全体で支えるようにし、利用者へ影響が出ないようにしている。</p>
<p>19</p> <p>○人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している</p>	<p>職員採用にあたり性別・年齢による排除はない。</p>	<p>○</p>	<p>60歳以上の職員も在籍し、経験による能力を發揮している。</p>
<p>20</p> <p>○人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる</p>	<p>「利用者本位」を念頭におき業務を遂行、研修・施設勉強会等に参加し人権尊重に努めている。</p>	<p>○</p>	<p>人として当たり前のことをすることを理念として掲げ、職員にも実行出来るように教育・研鑽している。県・市が実施する研修会に積極的に参加、多くの一般介護職員にも受講できるような機会を与え職場内研修に引き継ぐ。</p>
<p>21</p> <p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>経験や実績に応じての研修や、グループホーム協議会の研修、施設内勉強会等の研修を受講。職員の育成に努めている。又職場内でも利用者の状況に応じて医療面等その都度資料配布して学習し、レベルアップに努めている。</p>	<p>○</p>	<p>更なる研修受講を進めたい。</p>
<p>22</p> <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協議会での研修・会合を通しての交流があり、情報交換・相互訪問等している。</p>	<p>○</p>	<p>更に 交流を深めていきたい。</p>
<p>23</p> <p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>悩みを一人で抱えこまないように、職員間で話が出来ようような雰囲気作り、会議等への提案、時には個別に話を聴くようにしている。施設全体での職員旅行(日帰り)を実施している。</p>	<p>○</p>	<p>利用者への対応や職員間の人間関係についても、ストレスが軽減できるよう日常的に検討していきたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
24	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p> <p>職員の能力、実績、希望に応じて、各々に役割分担を持たせ、自信に繋げていくようにしている。</p>	○	ホーム全体でレベルアップに繋げて行きたい。
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
25	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p> <p>利用前にご本人家族と必ず面談を行い、ご本人の不安、思い等を伺い同時に緊張されていることが多いので緊張感を少しでも和らげるように努めている。</p>	○	まず、ご本人の話を傾聴する。
26	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p> <p>面談の雰囲気をもっとソフトにし、状況の把握に努めると共にホームに対してどのような希望・思い・不安をお持ちなのか伺うようにしている。</p>	○	ご家族の思いを受け止めていける様に更に努めたい。
27	<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p> <p>ご家族の状況を十分に把握し、必要とされている事について十分に説明に努めている。</p>	○	医療面の受診、薬の処方配達、オムツ類の購入、移動美容室の利用、細かい日用品購入等、利用可能な他のサービスについても充分説明を行い家族の意向を把握するように努めている。
28	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p> <p>ご本人の住み慣れたお部屋の雰囲気を大切にする為、ベット、タンス、部屋の飾りなど馴染みの品物を出来るだけ持参して頂けるようお願いしている。面談も食堂で行い他利用者との会話、様子見学、お茶・菓子で寛いでもらえるようにしている。</p>	○	今後も工夫していきたい。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
29	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p> <p>職員も生活の場・一員と認識し、家族に近い存在であるように努力している。利用者・職員共に冗句が飛び交い、楽しさ・笑顔を大切にしている。利用者の方から教わることも度々である。</p>	○	人生の大先輩として、色々なことを教わりながら共に生活をしていけるように努めている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族会等ご家族も一緒に楽しんで頂ける様プログラム(昼食会・外出)を設定したり、食事作り(餃子)等ご家族主体で実施したりもしている。	○	孫、ひ孫さんも含めて家族全員との関係を大切にし、来所、面会をお願いしている。
31 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	家庭の状況、事情を十分に把握するように努め、家族とご本人の関係が良い方向にいくように対応している。	○	日頃、日常会話から家族との関係をそれとなく把握し、支援に繋げるようにしている。
32 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族は勿論、友人、近所の方等の来所、面会、外出を支援している。	○	今後も関係が維持出来るように配慮していきたい。
33 ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	9名の少人数であるが、ややもすると利用者間のトラブルに成りかねない。必要に応じて職員が間に入って対応し、孤立されないように努めている。	○	個性を尊重し皆で支え合えるようにしている。
34 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退所後も支援を必要とされるご家族には、相談業務を行ったり、連絡を取るようにしている。	○	継続していきたい。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
35 ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	永年の生活習慣をもっておられるので、急激な生活の変更は、負担になられ、又変えられるものでもないので、出来るだけご本人の意思を把握・尊重しながら、必要に応じて時間をかけながら検討していくようにしている。	○	利用者本位を常に念頭に置いている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
36	<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>ご本人は勿論、ご家族、担当のケアマネージャー、デイサービス相談員等、身近な方からの情報提供を受け全体像の把握に努めている。</p>	<p>○</p> <p>日々の生活の中でご本人との対話を心掛け、周りからの情報収集につとめていきたい</p>
37	<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>永年の生活習慣を大切にしている。生活リハビリを実施することにより個人の能力を把握して、本人の希望を聞きながら家事やレクリエーションに参加して頂いている。</p>	<p>○</p> <p>更に把握していきたい。</p>
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>			
38	<p>○チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>ご家族の意見・要望とご本人の希望に添えるように職員間で検討を重ね介護・支援計画を作成している。</p>	<p>○</p> <p>より良い介護計画作成に努めたい。</p>
39	<p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>6ヶ月毎に介護計画の作成を行いその間3ヶ月後にモニタリングを行っている。途中、体調等変化を生じたときは、プランの変更をして新たなプランを作成している。</p>	<p>○</p> <p>現状に即したプラン作成を行っている。</p>
40	<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>介護支援経過記録に毎日の記録を記入。情報の共有に努め介護計画の見直しに繋げている。</p>	<p>○</p> <p>内容については、幅を広げていきたい。</p>
<p>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</p>			
41	<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>家族の要望があれば、食事を提供し一緒に食べて頂いたり、居室に泊まったりもして頂いている。</p>	<p>○</p> <p>今後も要望に応じていきたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
42	<p>○地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>	<p>公民館を中心に民生委員、ボランティアの方、小・中学生体験学習受け入れ、消防署による消火・避難訓練、ふれあい相談員の来所等地域の皆様の協力を得ながら支援している。</p>	<p>○</p> <p>今後も協力の輪を広げていきたい。</p>
43	<p>○他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>	<p>福祉用具を必要に応じて使用しているので事業者・ケアマネジャーと相談しながら対応。又病院入退院時には、ソーシャルワーカーとお互いに情報交換。サービス等については、ホットラインの相談係りに電話して、何うこともある。</p>	<p>○</p> <p>地域のサービスを今後も活用していきたい。</p>
44	<p>○地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>	<p>ケアマネジメントや、種々のサービス状況等について情報提供や相談を行っている。</p>	<p>○</p> <p>今後も協力をお願いしたい。</p>
45	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>利用者との個人契約で、居宅療養専門の内科医師が、月に2回往診診療を実施、歯科(1/週、口腔ケア)も同様、眼科、皮膚科は必要時のみ併設施設医務室(各2回/月)へ医師が診療の為来所。日頃から健康管理に配慮し、日常的に相談しながら支援に繋げている。近隣に協力病院もある。</p>	<p>○</p> <p>医師との連携を更に深めていきたい。</p>
46	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>在宅医養専門の内科医師と、日常的に連絡を取りながら対応している。認知症の症状によっては、専門医へ紹介状を出して頂き、受診・治療、アドバイスを頂きながら、支援している。</p>	<p>○</p> <p>医師との連絡を密に、認知症についても支援していきたい。</p>
47	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>職員に認知症看護を永年勤務経験した看護師が在籍しているので、看護・介護両面より指導を受けながら支援している。</p>	<p>○</p> <p>ホーム内勉強会も行いながら職員のレベルアップを図っている。</p>

福岡県 グループホーム 油山福祉の里

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	○	連携により早期退院に繋げている。
49	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	○	ご家族の意向を十分に尊重しながら対応している。
50	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	○	チームケアを推進していく。
51	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	○	今後も情報提供に努めたい。
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
52	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	○	排泄・入浴等のケアの時には、特に利用者が恥ずかしい思いをされないように対応している。人によっては、女性職員が対応している。

福岡県 グループホーム 油山福祉の里

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
53	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	○	意思尊重を基本に支援している。
54	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	○	[利用者本位]の生活を支援している。
seikat			
55	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	○	行事・外出の時等は、お化粧品やすてきな服を着用しおしゃれを楽しんでもらっている。
56	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	○	職員と共に食事を楽しい時間としている。
57	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	○	更に個別の嗜好に合わせていきたい。
58	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	○	気持ち良く過ごして頂けるように更に工夫していきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
59	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	○	入浴を楽しんで頂けるように努力していきたい。
60	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	○	一人でゆったりと過ごされる時間も大切に、見守るようにしている。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
61	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	○	個人の能力・好みに応じた支援を更に検討したい。
62	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	○	今後も機会を増やしていきたい。
63	<p>○日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	○	毎日遠く迄の外出は難しいが、施設内での気分転換に努めている。
64	<p>○普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	○	家族の協力を得ながら、外出先の幅を広げていきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
65 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	文字を書くことは難しい方が多いので、殆んど電話による連絡・会話を支援している。特に情緒不安定時には、家族との会話により落ち着かれることが多いので積極的に利用している。フォトレーターをご本人のサインで送付した事もある。	○	ご家族との連絡が取れるように、更に支援していきたい。
66 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会はいつでも自由に居室や食堂で、又お茶やおやつも提供している。	○	訪問し易い雰囲気作りを心掛けている。
(4)安心と安全を支える支援			
67 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束防止に施設全体で取り組み会議も開催している。職員にも周知徹底するように、グループホーム会議でも具体的に説明し、防止に努めている。	○	身体拘束でなくとも、利用者の方にとって不快に感じられることはしないように、又対応の在り方を検討するようにしている。
68 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中玄関は開錠、センサーにより出入りがあればチャイムが鳴るようにしているので、その都度職員が対応している。居室は本人不在時以外は、常に開錠している。	○	チャイム音に常に気を付け、利用者の気持ちを尊重し、様子を見ながら対応してる。
69 ○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	職員はプライバシーに配慮しながら、常に利用者の動き・物音に気を付けている。居室に入室時にはそれとなく見守り・巡視をし安全の確認をしている。(夜間も同様)	○	安全への配慮が一番重要であることを職員間で認識し、業務遂行している。
70 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	裁縫道具・はさみ・包丁等は必要な時だけ職員対応のもとに使用し保管管理している。歯磨きセット等も個人の状態・理解度により使用時以外は預かる方もおられる。個別に検討しながら保管管理している。	○	利用者の状態把握に努め危険防止に繋げたい。

福岡県 グループホーム 油山福祉の里

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
71	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>	<p>種々の研修会、施設内勉強会、消防署よりの訓練等、事故防止の為に学習に努めている。個別の対応についてもその都度会議や申し送りで検討している。</p>	<p>○</p> <p>毎日の積み重ねと職員の能力アップに努めたい。</p>
72	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	<p>救命救急の訓練や、急変時の対応について日頃から研修している。必要なマニュアル・連絡先も電話横に設置し、アンビュバックも用意している。</p>	<p>○</p> <p>繰り返しの訓練・研修を実施したい。</p>
73	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>火災・地震対応マニュアルを用意し避難訓練も実施している。地域とは、自衛消防団「油峯会」との連携をとっている。</p>	<p>○</p> <p>日頃からの学習・訓練に加え、地域との連携を深めたい。</p>
74	<p>○リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている</p>	<p>利用者個別に心身の健康状態や、リスクについての報告・状況説明を機会毎に行い、ご家族の理解、対応策について相談している。</p>	<p>○</p> <p>ご家族にとって辛い話のことが多いが、現状を認識して頂き、生活の質の向上に繋がりたいと考えている。</p>
75	<p>○体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>	<p>バイタルチェックを1回/日は必ず行い(朝食後、入浴前)、表情、食欲、歩行状況、体重等一人一人の状況を把握し、体調の変化や異変の発見に努めている。</p>	<p>○</p> <p>病院で高齢者ケアの経験がある正看護師が勤務しているので指示を受けながら情報を共有・対応している。</p>
76	<p>○服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>処方薬の説明書を個人別にファイルし、(名前、効能・効果、用法・用量、注意事項、薬の写真)いつでも閲覧・確認できるようにしている。服薬は、日付け、名前、朝、昼、夕、の確認を二人の職員で確認(薬のセット時、服薬前の2度)、又本人の前で名前を呼び且つ服用されたことを確認するまで見届けるようにしている。症状についても注意して観察している。</p>	<p>○</p> <p>確実な服薬は勿論であるが、一人一人の病状把握を行い医師との連携に努めたい。</p>

福岡県 グループホーム 油山福祉の里

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	<p>○便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>便秘予防のため野菜・海草・きのこ類等食物繊維をたっぷり摂取出来るように献立作成している。十分な水分も必要なので、1日のお茶・コーヒータイムを決め、又飲み残しがない様声掛けしている。運動として1日1回以上ラジオ・テレビ体操を行い、軽モップ(紙)による清掃も全員参加し生活リハビリを実施しながら身体を動かし便秘予防に努めている。</p>	<p>○</p> <p>日常生活全般に於いて、便秘改善に取り組んでいる。</p>
78	<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>毎食後の口腔ケアを実施、能力に応じて全介助、見守り、声掛けなどを行っている。歯科の訪問診療・口腔ケアを(1回/週)全員受診。医師よりのアドバイスを受けながら、口腔内の清潔保持に個別に対応している。</p>	<p>○</p> <p>食事摂取の為には、口腔内の清潔保持が大切と認識し、歯磨きの実施と歯科医師による早期治療を心掛けている。</p>
79	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事量・栄養バランスを考慮しながら毎食をグループホームで調理(職員の内栄養士2名)。水分量も1日必要量摂取出来るように湯のみの大きさ等検討し且つお茶・コーヒー等水分提供の項目を決め、用量が不足しないようにしている。個人の状況により介助・声掛け等必要な援助をしている。</p>	<p>○</p> <p>バランス良く栄養摂取が出来るように、利用者に食べ方についても声掛けをしている。概算の摂取量等も記録し栄養・水分量の不足にならない様に努めている。</p>
80	<p>○感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>施設として感染症委員会を開催(1回/月)。予防・対応についての取り決めがあり、発症しないように衛生管理に努めている。風邪等の感染症の発症は、3年以上ない。</p>	<p>○</p> <p>職員の感染症に対する認識を高めると共に、消毒(トイレ周り・ドアノブ等)を毎日実施している。</p>
81	<p>○食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>施設内で食中毒予防の勉強会を毎年実施し、職員の認識力の向上に努めている。まな板は、肉・魚介・野菜類に分け、まな板・布巾等毎日消毒をしている。冷蔵庫も週2回食材搬入前に清掃・消毒をし、食材には搬入日付けを記入し在庫を管理をしている。</p>	<p>○</p> <p>冷蔵庫保管を基本に、細部に亘り衛生的に管理している。</p>
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p>			
82	<p>○安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>玄関周りが無機質にならないように、入り口付近にプランターを置き、1年中草花を絶やさないようにしている。表札も手作りの物を掛けている。</p>	<p>○</p> <p>親しみのある玄関まわりになるように更に工夫していきたい。</p>

福岡県 グループホーム 油山福祉の里

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用の空間は、出来るだけ家庭的な雰囲気と季節感ができるように工夫をし季節により取替えをしている。光についてはカーテン・暖簾・すだれ等を利用している。</p>	<p>○</p> <p>一般家庭で日常使用されている物・設備を出来るだけ用いるようにし、家庭的な雰囲気の中で過ごして頂ける様にしている。</p>
84	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ソファ・椅子を食堂兼居間の他に玄関入り口と廊下奥に設置し一人でのんびりしたり、又利用者間で会話が弾む時もある。</p>	<p>○</p> <p>季節の良い候はベランダの椅子で寛がれることもある。</p>
85	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ベット・ダンス等の家具類・装飾品は利用者持参なので、ご家族とも相談の上、ご本人が使用されていた馴染みの物を出来るだけ持参され、お部屋の雰囲気を似たような感じになる様にお願している。仏壇を持参されている方もある。</p>	<p>○</p> <p>今後も心地よく過ごされるように家族と相談していきたい。</p>
86	<p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	<p>季節・気温に関わりなく、早朝と掃除時間は降雨以外、窓を全て開け換気を行う。状況により換気扇も使用。温度調整はエアコン利用であるが、出来るだけ自然の風を入れ又室温との大きな差がない様に小まめに調整している。</p>	<p>○</p> <p>夜間の温度調整は防犯上窓を開けられないので、エアコンをタイマーセットして使用。</p>
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
87	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>建物全体がバリアフリーで、廊下やトイレ内、浴室には手すりを設置している。居室・トイレ等のドアは、吊り下げ式の引き戸で安全に配慮している。トイレ・洗面台も居室内にあり、夜間ベットからすぐにトイレに行くことができる。</p>	<p>○</p> <p>浴室内はすべり止めマットを敷き、シャワーチェアを使用し転倒防止を図っている。</p>
88	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	<p>衣服等利用者で畳んで収納しているので、必ず記名し誰の持ち物か、確認できるようにしている。自分の部屋が理解できない方もおられるので居室入り口に名前だけでなく写真やカード、好みの飾り、暖簾など一部屋ごとに個別化している。</p>	<p>○</p> <p>トイレ失認のある方は、日中はドアを開けておき、夜間は点燈することにより、失認回数が減少した。</p>
89	<p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	<p>ベランダで洗濯物を干したり、お茶を頂いたり、日向ぼっこをしたり、とベランダは寛ぎのスペースである。外ベランダも、プランター、植木鉢等を置き、水掛けをしたり、花を眺めたりと憩いの場として使用している。</p>	<p>○</p> <p>外ベランダに常設のベンチの設置を検討している。</p>

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている		①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
		○	③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
96	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

福岡県 グループホーム 油山福祉の里

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	①ほぼ毎日のように
		<input checked="" type="radio"/>	②数日に1回程度
		<input type="radio"/>	③たまに
		<input type="radio"/>	④ほとんどない
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	①大いに増えている
		<input checked="" type="radio"/>	②少しずつ増えている
		<input type="radio"/>	③あまり増えていない
		<input type="radio"/>	④全くいない
100	職員は、生き生きと働いている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての職員が
		<input type="radio"/>	②職員の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③職員の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族等が
		<input type="radio"/>	②家族等の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③家族等の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

油山福祉の里は、「生活リハビリ」を実施しています。毎日の生活そのものがリハビリです。中でも食べることへの関心は高く、食事・おやつは、皆さん大好きです。健康の源は、「食」にあると考えますので美味しい物・栄養的にバランスのとれた食事こそ重要との認識の下に、職員・利用者一緒に食事作りに励んでいます。自分達で手洗い・調理した食事は、殊更美味しいものです。美味しいものであれば、しっかり噛んで味わいながら食べておられます。歯科医受診による口腔ケア実施の効果もあり、皆さん殆んど普通食です。漬物類(糠漬け、奈良漬、ラッキョウ漬、一夜漬等)や梅酒も手作りして、眺めながらも楽しんでます。レクリエーションとしても(家族参加の時もある)で餃子や、肉まんを作ったりおやつ類の手作り(ケーキ、饅頭、ゼリー、寒天、フレッシュジュース、ぜんざい等)楽しんだりしています。皆さん張り切って参加されます。食事時間は、「楽しい時間」。職員と利用者同じテーブルで同じ食事を食べ、味についてだけでなく食べ方、名称、季節の行事等へと会話も弾みます。先人の知恵で教わることも多々あります。食事の効果もあるのでしょうか、3年程は、風邪などの発熱者はおられません。今後も楽しい食事となるように心掛けたいと思います。